

2024年度横浜市トライアル助成金 交付対象事業(11事業)が決定しました

横浜市では、バイオ技術を用いたGX・脱炭素や健康・医療分野において、新製品や新技術の事業化を目指す研究開発やアイデア等を具体化する試作品の開発などを支援するため「横浜市トライアル助成金」の交付を行っています。

このたび、市内スタートアップ・中小企業、大学・研究機関等が取り組む11事業(交付予定額1,347万円)を交付対象事業として決定しました。

今後、市内企業などとのマッチングや販路開拓といったスタートアップ・中小企業の支援を積極的に進め、オープンイノベーションの実現につなげます。

※ 本事業は、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団が横浜市経済局の補助金を受けて運営する事業です。

【交付対象事業】

■中小企業が取り組む事業(3事業)

事業名	LED照射装置導入による微細藻類CCUSデモプラットフォームの構築と検証				
事業内容	藻類培養装置を用いてデモスケールでの微細藻類によるCO2固定技術を評価・検証し、藻類CCUSモデルの構築を目指す。				
申請者	株式会社アルガルバイオ(中区)	共同研究先	—	交付予定額	200万円
事業名	高感度遺伝子検出器の開発				
事業内容	簡単・迅速に自宅で一度に複数のウイルス性疾患検査を可能にする、超高感度な小型軽量の遺伝子検査器のプロトタイプ開発を行う。				
申請者	イノコラボジャパン INOCO LAB JAPAN株式会社(中区)	共同研究先	東京工業大学	交付予定額	200万円
事業名	アスペルギルス症早期診断法の研究開発				
事業内容	独自の抗体創薬プラットフォームを活用して、診断法の開発が望まれているアスペルギルス症に対する迅速で簡便な早期診断法を開発する。				
申請者	マブジェネシス MabGenesis株式会社(港北区)	共同研究先	宮崎大学	交付予定額	200万円

■大学や研究機関等が取り組む事業（8事業）

事業名	アディポカインを介した新規前立腺がん去勢抵抗性獲得メカニズムの解明				
事業内容	前立腺がんの主要な治療法であるホルモン治療に対する抵抗性の獲得における、脂肪細胞からの分泌因子であるアディポカインの役割を、遺伝子・たんぱく質解析により明らかにする。				
申請者	神奈川県立がんセンター 泌尿器科 鈴木 敦人	共同研究先	神奈川県立 がんセンター	交付予定額	100 万円
事業名	新生児脳症における MRS による発達予後予測方法の確立：多施設前方視的研究				
事業内容	新生児低酸素性虚血性脳症に対して多施設で臨床利用できる MRI・MRS 検査の方法を定め、出生後早期から将来の発達予後を予測できる定量的バイオマーカーを確立する。				
申請者	神奈川県立こども医療センター 新生児科 柴崎 淳 部長	共同研究先	—	交付予定額	47 万円
事業名	光合成機能制御分子 ppGpp と関連分子ツールの工業的製法の開発				
事業内容	植物の光合成を制御するはたらきをもつ生理活性物質 ppGpp の工業的製造法を開発し、バイオテクノロジーの研究に必要な研究材料を供給する。				
申請者	東京工業大学 生命理工学院 清尾 康志 教授	共同研究先	東京工業大学	交付予定額	100 万円
事業名	ALS 疾患モデル神経細胞の効率的な作出技術の開発				
事業内容	難治性神経変性疾患である筋萎縮性側索硬化症(ALS)の疾患モデル細胞を短期間かつ大量に産生する技術開発を行い、創薬および細胞治療の基盤拡充を目指す。				
申請者	横浜市立大学 医学部分子生物学教室 秋山 智彦 助教	共同研究先	—	交付予定額	100 万円
事業名	ウルトラファインバブルオゾン水素水による環境再生型農業のコア技術研究				
事業内容	ウルトラファインバブル化したオゾン水素水を利用して、脱化学農薬と作物生育を促進する善玉菌への効果を検証して、温暖化ガスを低減する環境再生型農業技術を開発する。				
申請者	横浜市立大学 木原生物学研究所 坂 智広 教授	共同研究先	日新電機株式会社	交付予定額	100 万円
事業名	遺伝性知的障害・自閉スペクトラム症に対する治療薬スクリーニング系の開発				
事業内容	遺伝性発達障害モデルの神経細胞における神経伝達物質の過剰な放出を抑制する薬剤をスクリーニングする実験系を開発し、知的障害・自閉スペクトラム症の治療薬の発見を目指す。				
申請者	横浜市立大学大学院 生命医学研究科 機能構造科学研究室 佐々木 幸生 准教授	共同研究先	—	交付予定額	100 万円

事業名	中分子ペプチドを利用した膵がん治療薬開発の構造基盤研究				
事業内容	膵がん治療薬の開発を目指し、転写調節因子 BRD4 の働きを阻害する中分子化合物を開発し、膵がんモデルシウジョウバエを用いて活性評価を行う。				
申請者	横浜市立大学大学院 生命医科学研究科 小沼 剛 助教	共同研究先	北海道大学	交付予定額	100 万円
事業名	がん糖鎖検査の促進を目指す高温耐性人工レクチンの試作				
事業内容	細胞のがん化で形が変化した「糖鎖」を検出するレクチンについて、高温に強い仕組みを研究し、品質の安定した人工レクチンを試作して、検査に役立つ技術を開発する。				
申請者	横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 大関 泰裕 教授	共同研究先	—	交付予定額	100 万円

※ 事業名等は申請書から提出された内容に基づいて掲載しています。共同研究先は見込みも含まれます。また、正式名称は一部省略しています。

※ カテゴリごとの掲載順については、五十音順としています。

※ 令和6年度横浜市トライアル助成金の申請募集に関する詳細は、募集時の記者発表資料をご覧ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2023/trial_0328.html

お問合せ先

(オープンイノベーションに関すること) 経済局イノベーション推進課長 中山 佳代子 TEL: 045-671-2574

(助成事業に関すること) 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 広瀬 貴生 TEL: 045-502-4810

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております。